

各 位

会社名 サイボウズ株式会社
 本店所在地 東京都中央区日本橋二丁目7番1号
 代表者の役職氏名 代表取締役社長 青野 慶久
 (コード番号4776 東証第一部)
 問い合わせ先 IR担当
 電話番号 03-6671-9525

連結業績予想、個別業績予想の修正、 および特別損失の発生（個別決算）に関するお知らせ

当社は、2021年12月23日に公表した2021年12月期通期の連結業績予想、および個別業績予想の修正について、下記のとおりお知らせいたします。当期(2021年12月期)配当予想については変更ありません。

また、同決算期において特別損失を計上することとなりましたので、合わせてお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想の修正

(1) 2021年12月期 通期連結業績予想数値の修正 (2021年1月1日～2021年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (2021年12月23日公表)	百万円 18,463	百万円 1,140	百万円 1,208	百万円 408	円 銭 8.89
今回修正予想(B)	18,489	1,441	1,468	551	12.01
増減額(B-A)	26	301	260	143	—
増減率(%)	0.1%	26.4%	21.5%	35.0%	—
(ご参考) 前年同期実績 (2020年12月期)	15,674	2,270	2,272	1,435	31.30

(2) 業績予想修正の理由

今回の修正としましては、決算作業の進捗によって確度の高い集計値が算出され、親会社株主に帰属する当期純利益の乖離率が開示基準を超えたため、業績予想値を変更いたします。売上高につきましては、前回予想と比べ27百万円増加し18,489百万円となる見通しです。利益項目につきましては、営業利益は前回予想と比べ301百万円増加し1,441百万円、経常利益は前回予想と比べて260百万円増加し1,468百万円となる見通しです。こちらは、人件費、広告宣伝費等、各投資施策で費用の一部を年内に使用しなかったことが主な要因です。親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、前回予想と比べて143百万円増加し551百万円となる見通しです。これは、税金計算の結果、法人税等の金額が増加したこと等が主な要因です。

2. 個別業績予想の修正

(1) 2021年12月期 個別業績予想値の修正 (2021年1月1日～2021年12月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (2021年12月23日公表)	百万円 18,013	百万円 3,116	百万円 460	円 銭 10.02
今回修正予想(B)	18,021	3,214	226	4.92
増減額(B-A)	8	98	▲234	—
増減率(%)	0.0%	3.1%	▲50.9%	—
(ご参考) 前年同期実績 (2020年12月期)	15,299	3,666	1,466	31.96

(2) 業績予想修正の理由

今回の修正としましては、決算作業の進捗によって確度の高い集計値が算出され、当期純利益の乖離率が開示基準を超えたため、業績予想値を変更いたします。当期純利益が前回発表予想と比べて234百万円減少しておりますが、こちらは、米国子会社に対する関係会社株式評価損の計上金額が前回予想での想定金額を上回ったことや、法人税の金額が増加したこと等によるものです。

3. 個別決算における特別損失の計上

(1) 特別損失の内容、発生の理由

当社が保有する関係会社株式のうち、連結子会社であるKintone Corporationの株式について、減損処理を行い、関係会社株式評価損2,038百万円を特別損失に計上いたします。これは、Kintone Corporationを通じた米国事業は投資フェーズにあり、損失が一時的に積み上がったことによるものです。しかしながら、当社といたしましては、長期的には米国市場での成長可能性があると考えており、投資に対する回収見込は十分であると判断しておりますので、引き続き米国への投資を行っていく予定です。なお、米国市場に向けた投資形態の変更については、引き続き検討中です。進捗がありましたら、改めて適時にお知らせいたします。

(2) 業績に与える影響

上記の特別損失は、「2. 個別業績予想」に織り込んでおります。なお、連結決算においては消去されるため、連結業績に与える影響はありません。

以上